

[様式1-1]

異動願(届)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

☐ 返還誓約書の機構送付(学校記入項目。送付済の場合は☒。返還誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

学校名		学籍番号		届出年月日		20 年 月 日	
学部・学科 (課程・研究科)		フリガナ		生年月日		西暦 年 月 日	
奨学生番号		氏名		学年		年	
併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入。 ただし、短縮卒業・修了を除く通常の辞退の場合は、該当の奨学生番号のみを記入。							
①	0	②	0				

以下、該当する異動種別(【退学】【辞退】等)及び異動事由(病気、経済事情等)を☒で選択。太枠は必須。

☒ 自署必須

☒ 機構への提出必須

貸与終了に係る異動

奨学生		☐ 【退学】		☒	
		☐ 病気 ☐ 経済事情 ☐ 一身上 ☐ その他			
学校		退学日/除籍日 (学籍を失った日)		20 年 月 日	
		●授業料未納により退学日/除籍日が過ぎますか。		はい いいえ	
学校		退学/除籍 決定日		20 年 月 日	
		決定日に基づいた異動始期で「退学(除籍)」の入力をしてください。 ※「決定日」は、授業料未納により退学日/除籍日が過ぎる場合に記入。 (休学から復学せず退学/除籍となり、その日付が過ぎる場合も同様に記入ください。)			
学校		☐ 【死亡】		☒	
		☐ 病気 ☐ その他		死亡日 20 年 月 日	
奨学生		☐ 【辞退】(奨学生の自署が必要)		学校保管 ☒	
		☐ 病気 ☐ 経済事情 ☐ 一身上 ☐ 他奨学生採用 ☐ その他			
学校		最終受領希望年月		20 年 月 分迄	
		※辞退後、卒業期までの返還期限猶予を希望する場合は、スカラネット・パーソナルから在学猶予願(在学届)を提出してください。			
学校		卒業期※		20 年 月 (見込)	
		※学籍確認のため卒業期の記入は必須。 ※スカラACから入力後、「異動願(届)」は学校保管。			
		●すでに退学/除籍が決定しているが退学日/除籍日に基づく異動 始期の前月以前の振込みが保留されており、最終振込年月までで 辞退する場合は、左欄「退学日/除籍日」を記入ください。			
学校		☐ 【辞退(短縮卒業・修了)】		☒	
		卒業日/修了日 (学籍を失った日)		20 年 月 日	

休 止

奨学生		☐ 【休止(通常の休学)】		学校保管	
		☐ 病気 ☐ 経済事情 ☐ 一身上 ☐ その他			
学校		休学日※		20 年 月 日	
		※振込超過がある場合は、休止処理ができないため返戻が必要。			
学校		☐ 【休止(長期欠席)】		学校保管	
		休止開始年月		20 年 月	
奨学生		☐ 【休止(長期履修学生の貸与先送り※)】 (奨学生の自署が必要)		学校保管 ☒	
		中断希望年月		20 年 月 分から	
学校		卒業期		20 年 月 (見込)	
		※対象は貸与期間が通常の課程における標準年限相当である長期履修学生です。			
		☐ 【休止(留学)】		学校保管	
		【留学情報】 学校記入欄。該当するものを ☒ で選択する。			
国 名		留学時の身分 ※1		☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学	
上記で選択した 身分の期間 ※2		1. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)			
国費情報 (ある場合のみ) ※3		☐ 海外留学支援制度 ☐ 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 年 月 ~ 20 年 月			
留学奨学金継続願提出		☐ 有 ☐ 無			
第一種奨学金(短期留学)申請		☐ 有 ☐ 無			
第二種奨学金(短期留学)申請		☐ 有 ☐ 無			
		※1 通常はいずれか1つに ☒ を付ける。留学中に複数の身分が存在する場合は ☒ を付けず、□内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。			
		※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で ☒ を付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に ☒ でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。			
		※3 この2つ以外は「私費」として取扱ひ、記入不要。 (注) 振込超過がある場合は、休止処理ができないため返戻が必要。			

学校記入欄(復活を除く全異動種別共通)

振込超過		20 年 月 ~ 20 年 月	
☐ 有 ☐ 無			
※振込超過がある場合は異動の入力を行わず、「振込金受取書」のコピーとともに「異動願(届)」を本機構に送付してください。 組戻しを依頼した場合も異動(振込保留等)の入力を行わずに送付してください。			
連絡事項 記入欄			

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日

学 校 名

関係課長名※

(機構使用欄)

最終振込年月	第一種: 20 年 月
	第二種: 20 年 月
振込超過	第一種: か月
	第二種: か月
要返戻金額	第一種: 円
	第二種: 円

電話番号 (担当者名)	学校番号	区分
()		

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

提出先 異動・補導係	郵送の要否 異動種別による	スカラAC入力 異動種別による
---------------	------------------	--------------------

〔様式1-2〕 復 活 の 異 動 願（届）

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出（届出）いたします。

☐ 返還誓約書の機構送付（学校記入項目。送付済の場合は☒。返還誓約書を送付していない場合、本願（届）を作成できません。）

学校名		学籍番号		届出年月日	20	年	月	日
学部・学科 （課程・研究科）		フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日
奨学生番号 ※併用貸与の者はそれぞれの奨学生番号を記入。				学年		年		
①		②		氏名 （自署） （奨学生の自署が必要）				

以下、該当する異動種別及び異動事由を☒で選択。太枠は必須。

奨学生	☐ 【休止（通常の休学）からの復活】		
	復活の開始※ （太学院のみ選択可）	☐ 学籍上の日付 （ ☐ 卒業に合わせる）	※大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
	休 学 日	20	年 月 日
	復 学 日	20	年 月 日
学校	卒 業 期	20	年 月（見込）

※休止時に振込超過がある場合は、返戻後、休止の異動願とともに「奨学金返戻用振込用紙」のコピーを機構に提出する。
※休学日は当初の休学日を記入。

奨学生	☐ 【休止（留学）からの復活】		
	復活の開始※ （太学院のみ選択可）	☐ 学籍上の日付 （ ☐ 卒業に合わせる）	※大学院以外の者で記入があった場合は無効とし、「学籍上の日付」として処理します。 なお、大学院の者で未選択で提出された場合は「卒業に合わせる」として処理します。
	復活希望年月※	※海外留学支援制度・官民協働海外留学支援制度の受給者、及び学籍上の身分が「留学」又は「在学」の者が遡及復活を希望する場合のみ記入。その他の記入は無効。	
	20	年	月
	卒業期	20	年 月（見込）
	【留学情報】欄 記入上の注意		
	国 名		
	留学時の身分※1	☐ 休学 ☐ 留学 ☐ 在学	
	上記で選択した身分の期間※2	1. 20 年 月 日～ 20 年 月 日 (2. 20 年 月 日～ 20 年 月 日)	
	国費情報 (ある場合のみ) ※3	☐ 海外留学支援制度 ☐ 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 年 月 ～ 20 年 月	
留学奨学金継続願提出	☐ 有 ☐ 無		
第一種奨学金(短期留学)申請	☐ 有 ☐ 無		
第二種奨学金(短期留学)申請	☐ 有 ☐ 無		

※1 通常はいずれか1つに☒を付ける。
留学中に複数の身分が存在する場合は☒を付けず、□内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。
※2 通常は1.に「留学時の身分」欄で☒を付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄に☒でなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。
※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

(注) 休止時に振込超過がある場合は、返戻後、休止の異動願とともに「奨学金返戻用振込用紙」のコピーを機構に提出する。

記入者	☐ 【休止（長期欠席）からの復活】			※卒業予定期が長期欠席前と比べて延期している場合は復活不可。
学校	復活年月	20	年 月	卒業期※
		20	年 月	20
			年 月（見込）	

記入者	☐ 【休止（長期履修学生の貸与先送り）からの復活】			※1 復活年月は奨学生本人が希望する任意の年月。 ※2 「休止」時点から卒業期が延期して
学校	復活年月※1	20	年 月	卒業期※2
		20	年 月	20
			年 月（見込）	

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

（学校の証明） 20 年 月 日

学 校 名

関係課長（※）

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

連絡事項記入欄

電話番号（担当者名）			学校番号			区分
— —						
()						

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務（返還業務を含む）及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報（奨学金の返還状況に関する情報を含む）が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

（機構使用欄）

最終振込年月	第一種： 20 年 月
振込超過	第二種： 20 年 月
☐ 有 ☐ 無	第一種： か月
	第二種： か月
要返戻金額	第一種： 円
	第二種： 円

提出先	郵送の可否	スカラAC入力
異動・補導係	必要	不要